

REBUILD & CREATE VALUE (2026年～2028年)

「事業基盤の抜本的な見直しと強化を通じて、お客様と社会に持続可能な新たな価値を創造します。」

1. はじめに

当社は、持続的な成長と企業価値向上を目指し、「中期経営計画2026～2028年度『REBUILD & CREATE VALUE 2028』」を策定いたしました。本計画では、国内市場の縮小や人手不足・コスト増大といった社会課題に加え、加速する脱炭素社会に向けて、会社の強みを最大限に生かした戦略に特化させ、継続的に収益を生み出せる体制を構築するため、以下の3つの重点戦略を推進します。

2. 経営基本理念

社会の進歩向上に寄与する製品を供給する
相互信頼にもとづく安定した取引を確立する
社員とその家族の生活の安定向上をはかる

3. コンセプト



4. 重点施策 販売戦略

① 構造用MDFの拡販

～建築基準法・省エネ法改正に対応できる高い性能を活かし、市場を拡大します～
建築基準法や省エネ法改正により求められる性能（耐震性、高断熱性など）をクリアするための構造材料として、MDFの特性（高耐力、防湿・防露性）を積極的に訴求します。これにより、住宅市場に加え非住宅市場への開拓も進めます。

② 海外MDF工場との連携強化

～海外OEM生産の活用による競争力のある製品を開発します～
自社での生産コストが高い、または競合製品との差別化が困難なMDF製品については、海外工場の持つ強みを活用し、収益の向上を図るためOEM生産に切り替えます。

③ PANECO®の量産・販売

～資源循環への貢献と新たな市場創出により収益源を育てます～
資源循環型社会への貢献と、木材とは異なる性質を持つPANECOの特性を活かし、新たな市場と供給サイクルを創出します。MDFとは異なるストーリー性とMDFの技術による品質の安定性を差別化ポイントとして、MDFの既存市場とは異なる非住宅用途への展開を強化します。市場への導入期であるため、認知度の向上と需要創出活動に注力し、収益の柱として育成します。

これらの戦略により、2029年3月期には年間売上14,400百万円、営業利益330百万円を目指します。具体的には、構造用MDF拡販による売上39億円、海外OEM生産による売上29億円、PANECOによる売上2.8億円を見込んでいます。本中期経営計画を通じて、安定した収益基盤を確立し、持続的な成長を実現してまいります。

経営指標目標	単位	2026年3月期実績	新中期経営計画 2029年3月期目標
営業利益	百万円	△37	330
EBITDA	百万円	334	730
ROIC	%	0.1	2.5

5. 配当方針

当社の配当につきましては、安定的な配当の継続を重視するとともに、企業体質の強化に必要な内部留保の確保に努め、業績を反映した利益還元を行うことを基本方針とし、配当性向25%以上を目標としております。